

2025年度

# 北九州市立大学 留学生ホームビジット ホストファミリー募集



北九州市立大学で学ぶ留学生を家族の一員として  
普段通りの生活の中に受け入れていただけませんか。  
(留学生ホームビジットにご協力くださるボランティアファミリー  
を募集しています)

## ホームビジットってなあに…?

### ホームビジットとは

外国人留学生が宿泊を伴わずに日本の一般家庭を短時間訪問し交流することです。留学生をご自宅や近隣のお出かけ等にお誘いいただき、日本の一般家庭を体験させてください。

### 北九大の短期留学生

北九州市立大学では、毎年、アメリカ、イギリス、韓国、カンボジア、タイ、台湾、中国、マレーシアなどの海外協定校から約40人の短期留学生が来日し半年から1年間学んでいます。

### 留学生にはこのように指導しています

- ① 月に一度は訪問すること。
- ② 2～3名ペアで活動すること。
- ③ 活動に必要な費用は原則留学生の自己負担。
- ④ 交流活動の内容・感想等レポートすること。

### ホストファミリーについて

- ① 二人以上でお住まいのご家族で、北九州市内在住の方。
- ② ご家族全員のご理解がいただける方。
- ③ E-mailで連絡のやり取りができる方。
- ④ 活動はボランティアとなり報酬等は予定していません。
- ⑤ 国籍や性別など、必ずしもご希望に沿うものではありません。
- ⑥ 原則、月に一度は交流して下さる方。

### お申込方法

◇Excelシートに入力してE-mail送信してください。

### お問合せ先

◇北九州市立大学 国際課国際交流係

E-mail [ukk-hvisit@kitakyu-u.ac.jp](mailto:ukk-hvisit@kitakyu-u.ac.jp)

TEL093-964-4202 FAX093-964-4028

## ホームビジット活動について

### (1) 概要

- ① 原則として、留学生 2～3 人程度と 1 家庭をマッチングします。
- ② 1 学期間(4 月～8 月上旬、10 月～2 月中旬)程度を単位として、留学生、ファミリー双方のご都合によって、月に 1 回程度を目安に留学生が訪問します。  
(回数は双方の都合にあわせて増減可能)
- ③ 訪問先までの交通費や施設使用料、入場料など、留学生自身の費用は留学生が負担します。(特に外出など費用を必要とする場合は、事前に留学生にお知らせください。)

### (2) 交流の事例

基本は、お互いのスケジュールに合わせて、ご自宅を訪問させていただきます。  
特別な準備は必要ありません。普段の生活に、留学生を仲間入りさせてください。

- お茶や食事など、日本の家庭での日常生活を体験させてもらう
- 近隣(公園・観光地、ショッピングモール)等に出掛ける
- 一緒にお互いの国の料理をつくる
- 正月、花見、お祭り、花火、クリスマスなど四季折々の行事に招待してもらう

※ NG 例：留学生を講師とした語学講習や家庭教師など

### (3) 報告

今後の参考とさせていただくため、ホストファミリーからは、終了後に活動状況や課題などについてレポート提出のご協力をお願いいたします。

### (4) セキュリティポリシー

お預かりしました個人情報(ホームビジット活動以外の目的)に利用することはございません。また、本学「情報セキュリティポリシー」に基づき取扱い、登録解除の際には責任をもって廃棄いたします。

## 留学生にアンケートを実施しマッチング

- ・アレルギーの有無
- ・食文化など注意点(宗教・習慣等)
- ・学生の交通手段
- ・交流する希望の曜日
- ・日本で体験したいこと
- ・趣味や特技 …など



## ホームビジット体験談



**マーカス・ヤマモト**  
(2017 年～2018 年受入)  
米国 タコマ・コミュニティカレッジ出身  
現在石垣島の高校で ALT をしています

こんにちは アメリカ・ワシントン州出身のヤマモト・マーカスです。北九大に留学する時、一人でアパートに住むことになるって言われたのでこんな機会があるとは思いませんでした。このチャンスを見逃しちゃだめだ!と思ってホストファミリーに会ってみたらすごく暖かく受け入れてくれました。一ヶ月に数回しか会わなかったのに毎回楽しくていつの間にか日本の家族だと思えるような存在になりました。そうめん流しや餅つき、夏祭りやクリスマス会など、一緒にたくさん遊んで、おしゃべりして、交流して、かけがえのない存在になっています。今は大学を卒業し沖縄県石垣島で仕事をしているのでホームビジットの家族に会いに行くこともあります。みんなにも是非、同じ体験をして欲しいです!